



介護体験を

聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第211号

令和1年8月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-133-3

電話044-233-0061

*9月は28日(土)です

第208回介護 体験を聞く会 「定例会」

令和元年8月31日(土)
介護体験を聞く会

出席者(職員)

柳田院長・柳田ケアマネ・
柏倉ケアマネ・飯田ケアマ
ネ木山・吉田・周藤・高橋
(美)・三島

【ご家族・事業所】8名
【検討の目的】

デイサービスを利用され2
年10カ月が経ちますが、
他利用者さんとの交流もあ
り、明るく前向きに過ごさ
れていました。ところがあ
る薬をきっかけに、体調や
様子が急激に変化していき
ました。現在ではその薬も
やめて、以前の様子に戻り
つつあります。今回はその
経過内容を検討していきたく
と思います。

☆を振ってさいころ



【氏名】Nさん 男性

【生年月日】昭和11年10

月19日 現在82歳【介護

保険利用状況】要介護2

(9月より要介護3) 週3回

月・水・金利用【利用開始

日】平成28年10月12

日

【出身地】川崎区浜町

【趣味】カラオケ・将棋

【性格】明るい・社交的

【主介護者】奥様

【既往歴】・両足アキレス

腱断裂(左右の順) 20代

・左膝内側側副靭帯損傷

・高血圧・脂質異常症

・糖尿病・白内障・痛風

・髄膜腫(平成27年6月

開頭摘出術)

・レビー小体型認知症

・パーキンソン病

【内服薬】

・イーシー・ドパール配合

錠：手足のふるえを抑える

・ドネペジル塩酸塩OD錠

：脳の働きを活発にする

・ドネペジル塩酸塩OD：

脳の働きを活発にする

・リボトリール錠：けいれ

ん発作を抑える薬

・トレリーフOD錠：手足

のふるえを抑える薬

・オロパタジン塩酸塩錠：

かゆみやアレルギーを抑え

る薬・ベタニス錠25mg

：過剰な膀胱の運動を抑制

する

・チアプリド錠：興奮を抑

え、気分を安定させる薬

・ニュープロパッチ：パー

キンソン病の症状を改善す
る貼り薬

【生い立ち】昭和11年、
川崎区塩浜で8人兄妹の下
から3番目とし生まれる。

実家は漁業。市立橋高校を
卒業し、日本金属工業へ勤

める。その後、川崎化成工
業へ転職。昭和38年、2

7歳で結婚、3人の息子さ
んを授かる。この後、奥様

の実家が営んでおられた製
作所に勤務。65歳から7

7歳までA製作所(営業・
納品)で勤務される。平成

27年、物忘れが目立ち始
め、心配になり、家族が大

師中央地域包括支援センタ
ーに相談し、要介護申請とな

る。

【張り薬が処方されて】本
年5月にA病院にてパーキ

ンソン病の症状改善薬とし
て貼り薬(ニュープロパッチ)

が処方されました。約1か
月後の7月1日の受診の時
には医師よりパッチは外し
ていいとのことになりました。
今回この貼り薬が開
始され、たまたまNさんに
おいて体調や様子に変化が
あったという経過を追って
いきたいと思います。*注
意書きと致しましては、今
回この貼り薬が始まってか

らNさんの体調や様子が変
化していきましたが、この
貼り薬によって誰しもが同
じように体調変化をもたら
すものではないということ
をご理解下さい。

【自宅での変化の様子】朝
は6時半に奥様が起こしに
行き、起きてくるのは7時
頃とのことでした。動作がゆっ
くりとなり、ベッドから離
れる時など足元のふらつき
が見られます。以前は朝食
後に一人で2時間ほど散歩
に出られていましたが、今
年に入ってから1人で散
歩はしなくなりました。食
後やテレビ等を見ている時
にいつのまにか椅子に寄り
かかりとうとうと寝てしま
う事があるそうです。貼り薬
を始めてみて、食事面で言
うと「人が変わってしまった
たような食べ方」になっ
てしまったようです。又時間
が経つと食事をしたことを
忘れてしまいます。粉薬は
水の入ったコップの中に入
れてしまったり、錠剤にお
いてはどうしたら良いのか
分からないといった感じに
なりました。入浴に関して
はシャワーのやり方がわか
らないといった状況になり、
トイレの場所も分からなく

なつていったそうです。又電気のスイッチや洗面台の引き出しの取っ手を壊してしまう事もあったようです。夜中に起きては「あそこに何かが居る」や昼寝から起きた時も「あそこに居る」など言うようになったそうです。病院の先生に相談して貼り薬をやめたところ、状況は少しずつ戻りつつあります。

【薬を始めそしてやめてみる】体調変化が起きてからは、まず表情の変化が顕著で、いつもニコニコされていたのが、表情がなくなっていきました。職員が説明していることがわからなかったり、同じ事を繰り返し言われたりすると、怖い表情になる事もありました。何をしているのか、何をしたらいいのかわからないといった不安な顔をよくされていたのも印象的でした。薬を始め徐々に体調や様子が変化していき、家族様も色々苦労があったことと思えますが、薬をやめたことにより前のNさんにゆつくり戻りつつある状態をみて少し安堵されたのではないかと思います。(今回の貼り薬の副作用)かゆみ、気持ち

悪い、幻覚、無意識に口をもぐもぐする、うとうとする、吐く、頭痛、めまい不眠、便秘、食欲がない、発疹、体がだるい、むくみ、体重の減少等が現れる事がありますが、この中のいくつかの症状が顕著に現れてしまったようにも思います。

【デイサービスでの様子】

○送迎 到着予定時刻には奥様と外で待っていて下さることも多いです。いつも笑顔で挨拶して下さいます。薬の影響でふらつきが多くなつてからは、車の乗り込み時に膝折れがあったり転倒の恐れも大きくなつてきました。どこに行くのかわからないといった発言もありました。いつもニコニコ笑顔のNさんから笑顔が少なくなつていくのも感じられました。○朝の会 来室されると、皆様に笑顔で丁寧な挨拶されていたNさんですが、ふらつきも顕著でしたのでご本人も歩くのに必死といった感じでした。朝の会も元気に歌を歌ってましたが、何となくボーッと参加される様になりました。急に立ち上がることも多くなり、理由を聞くとトイレ

だった、何故立ち上がったのかわからないといったこともありました。言葉もはつきりせず聞き取りにくい事もありました。

脳トレでは、間違い探しや計算問題をよくやられていました。プリントを渡しても手をつけないでいることもありました。洗濯たみなどのお手伝いにも協力的でしたが、なかなかこちらの言うことを理解していただけない状況もあり、今までやって頂いていたことができなくなつてしまうこともありました。傾眠がちで今までの明るいNさんとは遠ざかつていきました。

○排泄 これまではトイレはパッドの確認をし、また出てくる頃衣服を整えたりと介助はしていましたが、

ふらつきが多く見られるようになつたり、トイレまできて何をしたらいいのかかわらないといったこともあり、トイレ介助は終始見守りとなりました。今までは普通のパンツにパッドを使用していましたが、ズボン等を汚してしまうことも続きましたので、リハパンとパット使用になりました。○個別機能訓練 リハビリ

も意欲的に取り組まれていた方でしたが、なかなかこちらの説明を理解できないということが増えていったようです。歩行の練習で一定距離を行つて帰ってくるだけでも、曲がつて違うところに行こうとしたり、はたまた全く関係のない扉を開けようとする事がありました。なので新しいことはあまりせず、同じメニューを行うようにして安心して行つていただけるようになっていきました。筋力も落ちてきたようで、階段を上がるのに足が上がりきらなかつたり、歩行も前かがみで手を差し出すと更に前傾姿勢になるようでしたので、

あえて手は出さず見守りの中だけでご自身で歩いていただけるように試みしました。方向転換や立ち上がり

の時はふらつきが顕著でしたので、立ち上がり訓練なども行つていきます。ご本人様も大変だったので、

かと思像できるのですが、「リハビリをやりたくない」と言ったことはありませんでした。○食事 いつも「おいしい」と完食されていきました。体調に変化がみられた後も、



食欲が無くなるようなことはなく、ただあきらかに様子に変化がおこりました。何か追われているかのようにあせつて食べ物や口に運んだり、食べこぼしも多くなり、使用させていたエプロンもありませんでした。おしぼりを口に運ぶこともありましたが、食事でも見守りが必要となりました。そして食事前、食後の両方において「お腹すいたな、食事はまだかな」などの発言もよく聞かれました。お箸の他に、スプーンとフォークも用意しましたが、ご自分で使い分けて食べていらつしやいました。○午後のプログラム プログラムの内容を説明すると、

それを理解して他の利用者さんと一緒に和やかに楽しまれていました。が体調変化があつてからは、傾眠が多かつたり、急に立ち上がったリ、プログラムの内容を理解できないということがありました。冗談を言つて皆さんを楽しませてくれるような方でしたので、他の利用者様も「なんかおかしいね」といつもと違うNさんを見て思つていた方もいたようでした。

《柳田ケアマネ》介護体験を聴く会へ奥様が毎回参加されて話を聞いていたのでパッチを付けてからNさんの変化を担当ケアマネに話したり、奥様にも担当主治医の先生へ話してみましよう。と助言し、1か月位で薬を止める事が出来たんですね。パッチの薬量が増えるたび(4・5→9・0→13・5へ増える)変化が出て急に変わったから家族の方もビックリされたでしょう。

《ご家族》最初に食事の食べ方が変わりお茶碗に何でもかんでも、おかずを入れて箸で“むしゃむっしや”食べるのでこぼしも多かつたです。力も強いので、電気のスイッチを壊し

てしまつたり引き出しの取っ手を折つてしまつたりした事があり、トイレの方向が分からなくなつたり、シャワーの使い方が分からなくなつたり、テーブルの回りをウロウロしたり・今までなかつたような仕草が出てきたからびっくりしました。

《柳田ケアマネ》パッチ薬を含め薬の種類が減つてからの位、以前の様子に戻られましたか？

《ご家族》どの位かな・・・体調や様子が変化するまでの速度は速かつたけれど戻るのはゆっくりで徐々に戻つて今は半分位でしょうか・・・

《柳田院長》内服薬に着目すると(薬ごとの説明をされながら)私なら抑肝散とリボトクール錠(脳手術を行うと処方される薬)を飲んでいればよいと思えますね。治すのも薬 人間以上を作る(その人らしさを変えてしまう)のも薬ですから患者さんに合った薬の量と種類が大切です。早くに気が付いて良かった。利用者さんを守る為には家族とサービスマン所の情報交換と連携が大切である事を再認識する会となりました。その後も参加

秋の壁画「りんご」

ダイケア 三島

まだまだ残暑が厳しい8月のとある日、皆さんの前に登場したのは「赤いりんご」と「青いりんご」です。いったい何が始まるのかと思われた方々もいらつしやいましたが、芸術の秋を堪能していただくため、りんごの写生をお願いしてみました。意外にも？というのは失礼



なのかもしれないませんが、皆さま前向きにそして黙々と集中し始め、様々な色鉛筆を使用した赤いりんご、青いりんご、のみならず様々な想像上のりんごの絵を描いて下さいました。

この写生は3日間にわたつて行われたため、中には2回・3回と写生をされた方もいらつしやいましたが、2回目以降は様々なアレンジをされ、色とりどりにしてみたり、りんごに顔があつたりと長年培つてきた人生の中で素晴らしい感性が発揮されてきました。それぞれに書いて頂いた壁画を模造紙一杯に張り付け、見事な秋の壁画が完成しました。

10月に行われる文化祭へも展示されますので、是非見に来ていただければと思います。

柳田ダイケア 杉山

ダイサービスの一日

ダイサービスってどんな所なんだろう？何をやってるのだろう？と思つた事はありますか。今回はご利用者様がどのように過ごされているのか、ダイサー

ビスの一日を紹介したいと思います。

一日の始まりは送迎です。雨の日でも安全に入室出来るよう、ご自宅までお迎えに伺います。車の中では職員や利用者さん同士での楽しいお話が始まります。

到着するとお茶を飲みながら看護師による健康チェックが始まります。元気に一日を過ごして頂ける様、細心の注意を払っております。

文化祭で展示する脳トレは、この時間を実施していただきます。文字の書き取りや計算問題、間違い探し等、様々な脳トレを行つております。塗り絵を楽しむ方や日記を書く方、中にはスケッチを楽しまれる方もいます。

10時になると朝の会が始まります。今日一日を一



緒に過ごす大切な「仲間」です。皆様で大きな一つの輪になって座ります。当デイサービスでは「回想法」と「音楽療法」を軸とし、朝の会を行っています。皆様の楽しかった青春時代の話や苦労した子育て話、昔の川崎の町並みなど懐かしいお話を伺います。懐かしい思い出の中には歌もたくさんあります。お話と共に思い出される唱歌や歌謡曲など、皆様と一緒に楽しく歌います。ボールやゴムチューブ等を使った体操も行い、体力作りに励みます。

11時半、口腔体操を行い、昼食の準備が始まります。昼食は嚥下能力や体調に合わせて、刻み食やお粥などにも対応しています。昼食は職員も含め、同じお弁当を食べます。

昼食後はテレビを見たり、歌を歌ったりのんびりと過ごします。食器洗いや洗濯物たたみ等は生活リハビリとして、出来る事は皆様に手伝って頂きます。

14時からレクリエーションが始まります。職員が皆様に楽しんで頂ける様、また元気に体を動かせるようにと知恵を絞って考えたプログラムです。季節に合わせたおやつ作りやドライブ、お花見など

もありますよ。

楽しくゲームを行った後は、おやつの時間です。お茶を飲みながら、帰りの会では皆様と今日一日を振り返ります。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいます。「夕焼け小焼け」を皆様に歌ってデイサービスでの一日が終わりです。

どうですか？ちよつと見てみたい、行ってみたいと思いませんか？見学、一日体験など随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

デイサービス 吉田

初任者研修を終えて

グループホーム旭町で働かせていただいたから約半年がたちますが、介護の資格をまだ一つも持っていない私に「介護職員初任者研修」を取得できる機会を与えてもらい、16日間という短い

期間ではありませんが、介護の基本となるものを再度一から勉強してきました。日々現場にいるので、授業を受けている際内容がよくわかること、イメージ出来る事も多く、まだまだ未熟ではあるもののわずかでも経験を積めていてよかったです。とおこがましい限りですが思えました。また、自分に足りていない浅学な部分も多くあり、プロフェッショナルな講師の方々から始めての刺激をたくさん頂きました。研修を終え、資格も無事に取得することができ、やっと一歩前進なのだと感じます。この介護業界でこれからもっと大きく成長していきたいです。

旭町 関

今回の介護体験を聴く会

日時：9月28日(土)

14:00～15:30

開催場所…三々五々館
川崎区旭町2-1-3-1-9

第17回 敬老文化祭のお知らせ ～昭和やったね～

新しい時代、令和元年。
川崎の歴史や懐かしい音楽とともに、
今一度、古き良き時代“昭和”に触れてみませんか？

日時：令和元年 10月26日(土) AM9:30～PM16:00
10月27日(日) AM9:30～PM15:30

場所：音楽ホール三々五々館
川崎駅バス《11・12番乗場より川04系統》7つ目
「中島交番前」下車下徒歩5分
最寄り駅：京急大師線鈴木町駅

※詳細は次号会報にてお知らせ致します。